

令和5年度 事業報告【全般】

1. 入退所児童等の状況

施設名	定員	年度初	入所数	退所数	年度末
乳児院	10人	7人	0人	4人	3人
児童養護施設	40人	33人	4人	4人	33人

2. 一時保護、ショートステイ等の受入れ状況

施設名	乳児院		児童養護施設	
	人数	延べ日数	人数	延べ日数
一時保護	12人	218	7人	122
ショート	18人	128	7人	56
トワイライト	0人	0	0人	0

3. 令和5年度の出来事

- 4月 1日 新任職員理事長面接（後）
- 5日 AOIKE 高校入学式
- 6日 済生会乳児院研修①
- 7日 気比高・仁愛女子高入学式
- 8日 敦賀西小・気比中入学式
- 10日 北幼稚園入園式、済生会乳児院研修②
- 11日 職員会議・合同支援者会議（前）
- 18日 中部ブロック乳児院総会（敦賀市）園長出席 *おやさま誕生日
- 20日 養護全体会議（前）
- 21日 県社協法人連携協議会（後）園長出席
- 24日 県内施設長会および中プロ「福井大会」実行委員会（県社協）
- 26日 中養協議員会（名古屋）園長出席
- 27日 乳児院カンファレンス（前）
- 28日 中部地区児童家庭支援センター総会（名古屋～29日）2名参加
- 29日 【昭和の日】
- 5月 3日 【憲法記念日】
- 4日 【みどりの日】 *野坂山ハイキング
- 5日 【こどもの日】
- 8日 全国児童家庭支援センター協議会役員会（東京：前）および総会®（後）園長出席
- 11日 済生会乳児院研修③
- 14日 里親基礎研修（乳児院）
- 16日 済生会乳児院研修④

- 18日 養護全体会議、県社協退職共済委員会（前）、監事監査（後）
- 21日 福井県里親大会
- 22日 合同支援者会議（前）、中プロ「福井大会」実行委員会（後：県社協）
- 24日 全乳協総会（東京）＊代理出席＜済生会乳児院長＞
- 25日 中養協総会（名古屋）園長出席
- 29日 乳児カンファレンス（前）
- 30日 理事役員会（後）
- 6月 1日 知事との懇談[㊟]（前）
- 3日 東海北陸ブロック里親大会（岐阜）2名参加
- 5日 中部ブロック「福井大会」（福井市～6日）
- 8日 救急救命講習（前）
- 15日 養護全体会議（前）、定時評議員会（後）
- 22日 乳児カンファレンス・合同支援者会議（前）
- 26日 ブロック乳児養育主任者会（金沢～27日）
- 27日 県社協定時評議員会（後）
- 28日 防犯訓練（前）
- 29日 県社協連携協議会総会（後：県社協）
- 30日 白梅研修会（前）
- 7月 3日 職員会議・合同支援者会議（前）
- 5日 福養協自立支援担当職員等研修会[㊠]（一陽）
- 6日 全乳「高山大会」（～7日）園長参加 ＜七夕＞
- 11日 県社協チームリーダー研修[㊡]
- 13日 県社協チームリーダー研修[㊢]
- 14日 小浜市要対協代表者会等（小浜：後）
- 16日 学園夏まつり
- 17日 **【海の日】**
- 18日 市学校教育課との面談（幼稚園の件）
- 20日 養護全体会議（前）
- 21日 学童夏休み、県社協実践職員研修会[㊣]
- 24日 福井県人権擁護審議会（福井：前）園長出席
県社協キャリアパス新人研修[㊤]
- 25日 乳児カンファレンス（前）
- 26日 鼓笛おぢばがえり（～27日）
- 27日 県社協キャリアパス新人研修[㊥]
- 30日 全国児童家庭支援センター協議会役員会[㊦]（前）園長出席
- 8月 9日 学園合同海水浴（鞠山海岸）
- 10日 県社協災害ネットワーク[㊧]（後）
- 11日 **【山の日】**里親研修（乳児）、お盆里帰り（～16日）

- 19日 福井精米新米寄贈（県内施設へ 300kg）
- 22日 乳児カンファレンス（前）
- 24日 天理教社会福祉施設連盟職員研修（～25日：天理市）2名参加
- 28日 学童学校再開
- 29日 全児家セン役員会®（前）園長、県社協キャリアパス新人研修（小浜）
- 31日 資生堂セミナー（東京：前泊）園長
- 9月13日 敦賀市民生委員児童委員見学（後：12名）
- 18日 **【敬老の日】**
- 21日 養護全体会議（前）
- 22日 ブロック乳児栄養士会（三重）1名参加
- 23日 **【秋分の日】**
- 28日 乳児カンファレンス・合同支援者会議（前）
- 27日 ひきこもり相談会（後）
- 30日 福養協自立支援担当職員等研修会②（一陽）
- 10月 3日 福井県社会保障審議会（前：県庁）
- 4日 県内施設長会議（後：県社協）
- 5日 職員会議（前）
- 6日 学童第1学期終業式
- 7日 防災マルシェ
- 9日 **【スポーツの日】**
- 10日 中児家セン実務者会（敦賀：後）
- 11日 白梅学園子育てセミナー（敦賀：前）、学童第2学期始業式
- 12日 職員旅行①
- 13日 全児家セン「北海道大会」（～14日）園長出席
- 16日 養護全体会議（前）
- 18日 丹生地区更生保護女性会見学（25人：前）
- 19日 西小学校運動会（前）
- 20日 職員旅行②
- 24日 乳児カンファレンス・合同支援者会議（後）、職員旅行③
- 28日 全里「神戸」大会（～29日）2名参加
- 30日 小浜市民生委員児童委員見学（8名：前）
- 31日 中養協議員会（名古屋）園長出席
- 11月 2日 福井県施設事務指導監査（終日）
- 3日 **【文化の日】** *芋ほり体験（三方地区）
- 6日 全養「兵庫」大会（～7日）2名出席
- 8日 職員旅行④
- 9日 ブロック乳児養育主任者会（名古屋～10日）2名参加
- 10日 県庁職員3名ヒアリング（前）

- 1 1 日 市社協表彰式（前）・福井県社会福祉大会（後）園長出席
- 1 2 日 七五三祝
- 1 5 日 県庁との懇談会（後：県庁）
- 1 6 日 養護全体会議（前）、富山県ルンビニ園職員見学実習（後）
- 2 1 日 職員旅行⑤
- 2 3 日 **【勤労感謝の日】**
- 2 4 日 乳児カンファレンス・組織運営会議（前）
- 2 7 日 天理教全国研修会（神戸～29日）
- 2 9 日 職員旅行⑥
- 3 0 日 中養指導職員研修会（名古屋～12/1）3名参加
- 1 2 月 1 日 中養協指導職員研修会「石川大会」（金沢市～2日）2名参加
- 2 日 アナザーモーニングフェス（福大）副園長出席
- 3 日 同上、里親基礎研修（乳児院実習）
- 4 日 職員旅行⑦
- 5 日 市社協年末慰問（後）
- 6 日 敦賀市更生保護女性会慰問（後）
- 7 日 中部地区運営会議（後）
- 1 2 日 美浜町更生保護女性会慰問（前：10名）
- 1 4 日 ブロック経営者セミナー（福井市～15日）副園長参加
- 1 5 日 敦賀市更生保護女性会慰問（後：3名）
- 1 6 日 北電労組青年部慰問（後：15名）
- 1 9 日 ブロック乳児正副会長会議（前）
- 2 1 日 養護全体会議（前）、知事表彰（大良保育士）自民党へ要望（後：福井市）
- 2 2 日 学童年末終業
- 2 3 日 学園クリスマス（後）
- 2 5 日 天理白梅寮生との採用面談（天理市）副園長出席
県社協評議員会（後）
- 2 9 日 乳児カンファレンス・組織運営会議（前）
- 3 0 日 年末帰省開始（～1/5）
- 3 1 日 大晦日
- 1 月 1 日 **【元日】**
- 4 日 職員会議（前）
- 8 日 **【成人の日】**
- 9 日 学校再開
- 1 1 日 施設長認定講習（神奈川～15日）
- 1 8 日 養護全体会議（前）
- 1 9 日 福養協心理士研修会（後：済生会）
- 2 0 日 里親登録前研修（～21日）

- 25日 天理教社会福祉施設連盟施設長研修会（天理市）副園長出席
- 30日 乳児カンファレンス・組織運営会議（前）
- 2月 2日 小浜市要対協代表者会等（後：小浜市）園長等出席
（児相・市役所・白梅）三者会議（前）
- 3日 施設長研修会（神奈川～4日） *節分豆まき（夕）
- 7日 全里「福井大会」実行委員会（後：総福）園長出席
- 8日 県内市町家庭相談員見学研修（前：10名）
- 11日 **【建国記念の日】**
- 15日 養護全体会議（前）
- 19日 愛知県保育士部会（名古屋）2名参加
全養中堅職員研修（東京～20日）
- 21日 県庁訪問（前）園長、県社協退職職員運営委員会（後：県社協）園長
- 22日 中養協事務職員研修会（名古屋：後）
- 23日 **【天皇誕生日】**
- 27日 乳児カンファレンス・組織運営会議（前）
全乳上級セミナー（東京～28日）1名参加
- 29日 全乳看護セミナー（東京）1名参加、市社協評議員会（前）園長出席
- 3月 3日 <ひなまつり>
- 4日 こども家庭ソーシャルワーカー説明会®（前）
- 5日 市社協共同募金運営委員会（前）、天理白梅寮実習巡回指導（後）
- 7日 福井県社会保障審議会（後：県庁）園長出席
- 8日 全児家セン役員会（東京）園長
- 11日 県社協法人連携協議会（後）欠席
- 13日 ブロック乳児施設長会議（敦賀）1名参加
- 17日 原子力災害避難訓練（前）
- 18日 理事役員会（前）、県社協評議員会（後）欠席
- 19日 福養協心理士部会（白梅：後）
- 20日 **【春分の日】**
- 21日 養護全体会議（前）
- 22日 各校修了式、福井県社保審（前）福井県要対協（後）欠席
- 24日 新入学卒等お祝会（前）
- 26日 新福井児童相談所開所式（前）欠席
- 27日 市社協評議員会（前）欠席、福養協施設長会議（後：県社協）
- 28日 乳児カンファレンス・合同支援者会議（前）
- 29日 新任職員研修会（～30日）、白梅学園評議員会（前）
- 31日 天理教少年会越乃國分団総会

4. 令和5年度各学校への入学（入園）・卒業関係

(1) 令和5年度に入学した実数等

北幼稚園（2名）
 敦賀西小学校（2名）
 松陵中学校（2名）
 敦賀工業高校（2名）、仁愛女子高校（1名）、青池高校（1名）

(2) 令和5年度に卒園卒業した子どもの実数等

敦賀西小学校（4名）➡松陵中学校（3名）、嶺南東中等部（1名）
 南小学校（1名）➡気比中学校
 松陵中学校（2名）➡家庭引取：若狭高校（1名）、敦賀工業高校（1名）
 気比中学校（1名）➡美方高校
 嶺南東中等部（1名）➡嶺南東高等部

(3) 卒園した児童の進学先

気比高校（1名）➡名古屋スポーツリゾート専門学校

5. 令和5年度実習生受入実績

実習受入校名	人数	実習受入校名	人数
京都華頂短期大学	7人	大阪保育福祉専門学校	4人
豊岡短期大学	1人	池坊短期大学	2人
金城大短期大学部	1人	びわこ学院大短期大学部	2人
奈良保育学院	2人	京都文教短期大学	1人
仁愛大学	6人	滋賀短期大学	11人
仁愛女子短期大学	7人		
合計		11校	44人

6. 令和5年度に寄附をいただいた個人・団体名

No.	ご芳名	寄附等の内容	金額（円）
1	敦賀市更生保護女性会	年末慰問金	10,000
2	美浜町更生保護女性会	年末慰問金	10,000
3	匿名（東京都在住）	子どものため	600,000
計			620,000

7. 令和5年度の物品寄附等（敬称略）

月	ご芳名	住所	物品名
4月	酒井ふみ代	敦賀市	衣類等
	（匿名）		毛布

	JA 福井県青壮年部	福井市	米 100kg
	中谷詩織	敦賀市	おもちゃ・衣類
	西田生子	奈良県	本 2冊
	(匿名)		紙オムツ 1箱
	(株) 塩荘	敦賀市	駅弁 60個
	敦賀 RC	敦賀市	マスク 1箱、図書 1箱
	梅田優人	坂井市	本と玩具
	(匿名)		任天堂ウィー
	木梨憲武財団	大阪市	Tシャツ多数
	高橋健二	小浜市	春キャベツ等
	パチンコラスベガス	敦賀市	お菓子 7箱
5月	(匿名)		生理用品 1袋
	石倉順子	敦賀市	幼児衣料
	川村麻衣	小浜市	衣料品多数
	(匿名)		お菓子 7箱
6月	竹内俊治	敦賀市	食器その他
	門司一徹	東京都	お菓子 3箱
	パチンコラスベガス	敦賀市	お菓子 7箱
	半田春枝	山口県	本 1冊
	(匿名)		ベビーベッド 2台
	小原奈津子	敦賀市	ランドセル 1個
	田邊裕子	敦賀市	衣類、バック等
	門司一徹	東京都	小物品等
	竹内博司	敦賀市	ミルク缶 2個
	坊 善信	敦賀市	衣類、靴
	小堀和広	若狭町	玩具 5箱
	加納	敦賀市	ベビーカー、玩具
7月	高木鈴子	敦賀市	アイスクリーム多数
	ユニクロ		衣料品多数
	竹内俊治	敦賀市	玄米 30kg
	辛島康之	敦賀市	小物 1箱
	オーカワパン	坂井市	パン 3種 47個
	高橋健二	小浜市	なす 1箱
	高橋健二	小浜市	ネギ 1箱
	石本伊和雄	敦賀市	スイカ 3個
	高木鈴子	敦賀市	アイスキャンデー
	田代美代子	若狭町	日用品、衣類

	西村 弘	敦賀市	ベビーオムツ
8月	小林秀也	富山県	呉羽梨1箱
	(株)福井精米	福井市	新米30kg
	高木鈴子	敦賀市	アイスクリーム2袋
	鳥居 勲	敦賀市	衣類2箱
9月	川元自転車	敦賀市	子ども用自転車
	門司一徹	東京都	カード等
	高木鈴子	敦賀市	アイスクリーム等
	徳本道輝	敦賀市	お菓子
	高橋健二	小浜市	茄子
	藤本宏幸	美浜町	お米
	福井精米	福井市	お米
	nijito オフィス	福岡市	ボディシャンプー
	片倉美鈴	敦賀市	玉子50個、お菓子2箱
	辛島康之	敦賀市	ぬいぐるみ多数
	若狭東更生保護女性会	若狭町	日用品2箱
	榎本康博と仲間たち	若狭町	お米3袋
	西浦石油	敦賀市	新米30kg
	パチンコラスベガス	敦賀市	お菓子6箱
	明治安田生命	福井市	玩具2袋
	牧野圭一	敦賀市	食器類
	コンチャンファーム	坂井市	豊水5kg
	(匿名)		ランドセル1個
フレーベル館	東京都	幼児絵本多数	
10月	宇野美和	敦賀市	お米70kg
	榎本康博	若狭町	玄米60kg
	青池春志	若狭町	文房具多数
	スポーツコバヤシ	敦賀市	スポーツ用品多数
	平佐多博美	敦賀市	ハロウィンお菓子
	鳥井洋二	敦賀市	幼児用衣類多数
	パチンコラスベガス	敦賀市	お菓子8箱
	野崎由美	敦賀市	衣類、ランドセル1個
11月	宮本幸子	敦賀市	辞書、図鑑
	高橋健二	小浜市	サニーレタス他
	門司一徹	東京都	クリスマスカード
	本勝寺(桃井)	敦賀市	お米、お菓子
	氣比神宮	敦賀市	七五三詣

	(株) フェリシモ	神戸市	500 色色鉛筆、絵本等
	青池春志	若狭町	文房具多数
	道司 将	福井市	お菓子
	(匿名)		うまい棒 2 箱
	田村美代子	若狭町	ぬいぐるみ等
	小川亜栄可	敦賀市	衣類 1 袋
12月	氣比神宮	敦賀市	お酒、千歳飴等
	(株) カナカン乾親会	金沢市	カップラーメン 1 1 箱
	全国シャンメリー協同組合	東京都	シャンメリー 2 4 本
	高橋健二	小浜市	図書カード(5 千円分)
	河合洋子	若狭町	幼児本多数
	吉川英作	東京都	同上
	敦賀市更生保護女性会	敦賀市	お菓子、日用品
	伊原由美子	敦賀市	クリスマスプレゼント
	北電労組青年部	敦賀市	お好み焼き、ビンゴ
	江口一穂	敦賀市	文房具(ノート)
	中嶋孫治郎	敦賀市	マンガ本
	横浜幸銀信用組合	横浜市	乳幼児本
	(株) 雪印ビーンスターク	東京都	レトルト食品
	緩詰里香	若狭町	お菓子(Xmas)
	平佐多博美	敦賀市	お菓子(Xmas)
	鈴木ひろと	敦賀市	女児下着等
	高木 睦	敦賀市	日用品
	東京海上日動敦賀支社	敦賀市	アイスケーキ 7 個
	池田みつ枝	沼津市	みかん 1 箱
	住友生命福井支社	福井市	Xmas ケーキ 7 箱
	(株) バックステージ	東京都	本 2 冊
	川口輝美	敦賀市	Xmas プレゼント
	日本鏡餅組合	新潟市	鏡餅セット 1 個
	原田雄真	鹿児島県	ぬいぐるみ 1 体
	パチンコラスベガス	敦賀市	お菓子 8 箱
	若狭町長、榎本康博	若狭町	年末餅づくり
	徳本達之	敦賀市	お菓子、果物等
	竹内廣宣	あわら市	お菓子 3 箱大
1月	竹内俊治	敦賀市	正月餅 1 袋
	(株) 日本教文社	東京都	カレンダー 1 本
	敦賀市婦人児童福祉協議会	敦賀市	みかん 2 箱

	榎本康博	若狭町	正月伝承遊び
	原田雄真・角田隆幸	鹿児島・広島	ぬいぐるみ2体
	佐々木	敦賀市	お菓子、日用品
	(株)みずほ	埼玉県	文学本25冊
	グランマ chie	長野県	絵本1冊
	宮下知世	鯖江市	腹巻2本
	<p>日本缶詰瓶詰レトルト協会 <代表> 公益社団法人 日本缶詰瓶詰レトルト 食品協会 業務部 <東京都></p>	長野県	山雅カレー
		東京都	ホタテ貝柱
		長野県	はちみつレモンジュース
		東京都	鯛味噌スチック
		静岡県	朝からフルーツ杏仁
		東京都	パスタソース
		小浜市	味付け鯖缶
		富山県	名水仕立て富山コシヒカリ
		長野県	白桃ジュース千曲の滴
		静岡県	静岡茶
		東京都	ふわふわ玉子のカレー
		長野県	パン職人のブルーベリージャム
		静岡県	ママカレーの具
		千葉県	麻婆豆腐の素
		長野県	なめ茸
	青森県	焼きさけあらほぐし	
	長野県	日本の果実国産黄桃	
2月	JA 福井県青壮年部	福井市	いちほまれ100kg
	門司一徹	東京都	うさぎこけし雛1体
3月	川北敦子	枚方市	おくるみ5枚
	日本食研	愛媛県	牛カルビ丼の素
	(匿名)		レインコート7着
	パチンコラスベガス	敦賀市	お菓子9箱
	(匿名)		キャベツ12玉
	水野恵子		文房具他多数
	オーカワパン	坂井市	ラウンドチョコ、食パン他
	平和堂石川鹿島店	石川県	ランドセル、ゲーム機他

令和5年度 事業報告【児童養護施設 晴喜館】

1、事業の目的

白梅学園の基本理念に基づいた養育方針の実践を行い、家庭的養育の実現に向けた対応。
また、福井県社会的養育推進計画実施に伴い、本計画の基本理念である、①子どもの最善の利益を優先、②家庭養育優先の原則を中心に、計画期間である令和2年から令和11年（10年間）に向けた対応を今後の児童福祉施設に必要とされる事業と捉え、嶺南地区の地域ニーズ踏まえて優先的に推進を図る。

2、施設の現状

今年度は、年度研修計画の通り概ね研修を受講することができ、計画的な人材育成を行うことが出来た。また、引き続き全体会議とコモンセンスペアレンティングによる全体フォローアップを行うことにより、個人目標に向けたフィードバック体制の強化を図り、施設の高機能化に向けた取り組みを行うことが出来た。

市町との連携においては、要保護児童対策地域協議会へ積極的に参加し、子育て短期支援事業の利用勧奨を促すと共に、虐待の早期発見・早期対応に必要な支援のアプローチを行った。

適切な対応により安心できる環境として利用者が増え、今年度は「子育て家庭訪問支援事業」や「在宅指導委託」など、今後に関わる支援の充実を図るための一助となった。

児童養護施設晴喜館の年間目標として、①サービスの統一化（養育技術の向上）、②問題の共有化（アセスメントシートの確立）、③根拠に基づく支援（エビデンス）。これをもって、施設の高機能化を目指し、今後も継続して進めていきたい。

また、次期都道府県社会的養育推進計画の対応において、今年は大変重要な時期となる。引き続き、地域との連携を密にした取り組みを積極的に行い、地域共生社会の実現を目指す。

1、月別入所児童の推移（※月初の人数）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
本 体	22	22	22	22	25	24	24	23	23	23	23	23
たんぼぼ	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
日 向	5	5	5	5	6	6	6	6	6	6	6	6
合 計	33	33	33	33	37	36	36	35	35	35	35	35
定 員	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40
充足率	82.5	82.5	82.5	82.5	92.5	90.0	90.0	87.5	87.5	87.5	87.5	87.5
一時保護	3	27	16	31			6	21				
短期支援	1	7		1	9	5	3				3	15

※一時保護、短期支援事業は延べ日数

2、職員配置状況

あらしき棟 事務所	
職名	配置
施設長	1
事務員	1
家庭支援専	2
里親支援専	1
心理療法士	1
個別対応	1
栄養士	1
嘱託医	1
特別指導員	0
学習指導員	1

晴喜館第2棟		
職名	めばえ	ふたば
UL	1	
保育士	3	2
指導員	0	1
調理員等	1	
管理宿直	2	

晴喜館第3棟		
職名	あおば	わかぎ
UL	1	
保育士	3	3
指導員	0	1
調理員等	1	
管理宿直	2	

地域小規模		
職名	たんぽぽ	日向
UL	1	
保育士	3	1
指導員		2
管理宿直	1	

正規職員 33名
 非常勤 嘱託医 1名
 管理宿直 5名
 合計 39名

3、会議等

会議名	参加対象者	年間回数
全体会議・CSP/FU	養護全職員	11回
合同支援者会	児童家庭支援センター・乳児・養護の支援者	10回
支援者会議	施設長・FSW・里専・心理・UL	20回
H L会議	施設長・FSW・里専・心理・UL・HL	11回
ホーム会議	ホーム職員（必要に応じて支援職員）	随時
専門委員会	アドバイザー：1名 委員：5～6名	随時
中高生会議	指導員 中高生児童	2回
三者協議	敦賀市児童福祉課・敦賀児童相談所・白梅学園	4回

4、心理療法・家族支援・里親支援 実施状況

① 心理療法 毎リ週 or 隔週 or 月1回 50分

内容（カウンセリング・プレセラピー・SST（アンダーコントロール））

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
対象児童	19	17	17	18	6	12	14	18	18	18	18	18	440
延べ回数	36	51	46	34	6	30	35	48	41	37	41	35	

② 家族支援 ・対象家族17家族 ・家庭引き取り 2組2名

- ③ 里親支援 ・里親サロン 12回 ・嶺南サロン 6回 ・奥越サロン 1回
 ・星の子のつどい 2回 ・ハピさとサークル 2回 ・里親家庭訪問 14回
 ・ウィークエンドスティ利用 5組52回
 ・里親基礎研修、登録前研修 3回 ・リクルート活動 3回
 ・その他 フォスタリング機関との会議、ミーティング

5、職員研修並びに関係機関との協働

	行事内容	期日	会場	対象職員
4月	敦賀市西小連絡会	14	敦賀西小	施設長・支援専門相談員・UL
	第1回福養協拡大施設長会議	24	県社協	山本道次・山本達也
	第16回天理教社会福祉大会	25	天理市	山本道次
	敦賀市要対協代表者会議	25	市役所	塩野 宏
5月	県社協キャリアパス対応中堅職員研修	18	R研修	今枝愛加・西野日菜子
	福井県里親会総会	21	福井市	吉原恵里
	第2回福養協拡大施設長会議	22	県社協	山本道次・山本達也
	美浜町要対協代表者会議	24	美浜町	山本道次
	中養協総会・施設長学習会	25	名古屋市	山本道次
	心肺蘇生法講習会(普通救命講習)	26	白梅	対象職員
6月	中部ブロック合同研修会 福井大会	5.6	アオッサ	山本道次・山本達也・ 中村睦也・田中緋鶴 山田ゆきの・木村茉希
	敦賀市要対協実務者会議(全体)	16	市役所	藤村敦子・河野普示代
	スーパービジョン研修	16～ 18	中央福祉学 院	山本道次
	若狭町要対協代表者会議	20	若狭町	山本道次
	全国養問研 全国大会 大阪大会	24	大阪市	江戸円華
	園内研修 同朋学園 園長	30	あらき棟	全職員対象
7月	自立支援担当職員養成研修	5	一陽	河野普示代・山本 諭・ 上野恭子・山下楓香
	県社協 チームリーダー研修	11	福井市	清水進美
	心肺蘇生法講習会(普通救命講習)	14	あらき棟	対象職員

	小浜市要対協代表者会議	14	県社協	山本道次
	児童福祉施設心理担当職員合同研修	17	オンライン	田中心理士
	敦賀市要対協実務者会議 (学校部会)	21	市役所	藤村敦子・河野普示代
	SBI 子ども希望財団児童指導員研修会	22	梅田	山本 諭
	県社協キャリアパス対応初任者研修	24	嶺南	木村茉希・山本遥香・藤原舞香
	第1回家族療法S V招聘研修	28	総福	田中緋鶴・藤村敦子
8 月	業務継続計画(BCP)策定ポイント講座	8	オンライン	山本道次・山本 諭
	敦賀市児童虐待防止研修会	9	市役所	山本道次・藤村敦子・田中緋鶴
	天理教社会福祉施設連盟職員研修	24.25	天理市	山本道次
	県社協 初任者研修	29	嶺南	木村茉希・山本遥香・藤原舞香
9 月	敦賀市要対協実務者会議 (乳幼児部会)	15	市役所	藤村敦子
	福祉施設長専門講座	16～ 18	葉山市	山本道次
	自立支援担当職員養成研修	30	一陽	河野普示代・山本 諭・ 上野恭子・山下楓香
10 月	福祉施設防災マネージャー養成研修	19.20	福井市	藤村敦子・竹村菜穂子
	全国里親大会(神戸大会)	28.29	神戸市	吉原恵里
11 月	第76回全国児童養護施設長研究協 議会	6～8	神戸市	山本道次・山本達也
	第2回家族療法S V招聘研修	20	総福	田中緋鶴・河野普示代
	天理教施設連盟全国研修会神戸大会	27～ 29	神戸市	山本道次・山下楓香・ 山本菜々美・坂井美紗
	中養協指導職員研修会 名古屋大会	30～1	名古屋市	江戸円華・清水進美
12 月	Another Morning Festival 2023 in Fukui	2	福井大学	山本道次(講演)
	令和5年度社会的養護を担う 児童福祉施設長研修会	11	R研修	山本道次
	東海北陸B社会福祉法人経営者セミナー	14.15	福井市	山本道次
	敦賀市要対協実務者会議 (学校部会)	15	市役所	藤村・河野

	白梅寮地方派遣三者懇談会	25	天理市	山本道次
1 月	社会福祉施設長資格認定講習会	10～ 15	葉山市	山本達也・上野みゆき
	敦賀市要対協実務者会議 (乳幼児部会)	19	市役所	藤村敦子
	天理教社会福祉施設連盟施設長研修会	25	天理市	山本道次
2 月	福祉施設長専門講座	3.4	葉山市	山本道次
	全養協 中堅職員研修会	19.20	東京	西野日菜子
	第5回中養協議会事務職員研修会	22	名古屋市	山本道次
3 月	敦賀市要対協実務者会議 (全体)	15	市役所	藤村・河野
	新任職員研修会	29.30	あらしき棟	新任職員3名
備 考	・支援者グループFB 毎週火曜日 10:30～12:00			

6、主な行事

日付	行事名	開催場所	参加人数	
			職員	児童
4/29	全教一斉ひのきしんデー	坂尻海岸	11	27
5/4	ゴールデンウイーク全体行事	野坂少年自然の家	14	21
5/	新任職員歓迎会 (3日間)	市内	全	
5/14	野菜の苗を植えよう	本体施設	8	13
6/24	SNSを学ぼう・マネークリップ勉強会	あらしき棟2F	6	9
6/25	己書「身近な人に感謝の気持ちを伝えよう」	あらしき棟2F	1	13
7/16	白梅学園 夏祭り (ALT参加)	白梅本体施設内	20	全員
8/1.2	こどもおちばがえり行事参加	奈良県天理市	4	11
8/4.5	こどもおちばがえり行事参加	奈良県天理市	3	11
8/9	白梅合同海水浴	田結海水浴場	14	25
8/25	お金の使い方についての勉強会	あらしき棟2F	8	20
9/3	ぶどう狩り (招待行事)	泰澄の杜	1	6
10/7	防災マルシェ	本体施設	25	全員
11/3	芋掘り招待行事 (榎本康博氏より)	若狭町生倉	5	11

11/5	ALT ハローウィンパーティー	あらき棟 2F	7	25
11/12	七五三祝 お宮参り	本体施設	3	2
12/2	西地区子ども会スケート教室	サンピア	1	8
12/16	北電労組青年部慰問	本体ホーム		全員
12/23	白梅学園クリスマス会	あらき棟 2F	全員対象	
3/24	白梅学園 お祝い会&お別れ会	あらき棟	全員対象	
3/31	天理教越乃國団少年会総会	越乃國大教会	1	6

※ホーム単位での行事は、季節に応じて企画した。

7、特記事項

- ・令和5年度は、全国社会福祉協議会が主催する中央福祉学院において、社会福祉施設長資格認定講習会2名、スーパービジョン研修1名、社会福祉施設長専門講座1名が受講し資格を取得した。通常は、児童福祉に特化した研修が多い中、社会全体を俯瞰した問題として受け止め、社会福祉法人の役割として支援が必要な家庭への積極的な働きかけ行い、地域共生社会の実現に向けた一翼を担う施設運営を目指していきたい。
- ・こども家庭庁の創設に伴い、改正児童福祉法に基づく支援を着実に実施するとともに、こども未来戦略（加速化プラン）に基づき、こども・若者視点での新たなニーズに応じた支援等の強化が図られている。また、後期おける計画の見直しとして、次期都道府県社会的養育推進計画策定され、令和7年度から開始される。引き続き、子ども達が安心して暮らせる日常生活の営みが続いていけるよう、学びを深め養育の充実を図る。

令和5年度 事業報告【乳児院 蕾舎】

1. 事業の目的

白梅学園乳児院蕾舎は、天理教の基本理念に基づいて長年積み上げてきた養育実践を踏まえ、事情があつて親と生活を共にすることのできなくなった子どもたちの傷ついた心に寄り添い、温かい眼差しの下、親心に徹した養育体制で子どもたちの心身の発育に寄与していくことを目的とする。

そして、無限の可能性を秘めた子どもたちを大切に扱い、安心して生活できるよう、また、生きるよろこびを味わえるように養育を実践していく。

2. 施設の現状

昨年度は、地域支援への対応強化を図る上から、改めて子どもの権利擁護について、以下のことを行った。

① 乳児院倫理綱領、蕾舎・舎訓の唱和

② より適切なかかわりをするためのチェックポイントよる振り返り

全乳協が定める「乳児院倫理綱領」は、すべての乳児院が旨とすべきことを乳児院全体の理念としてまとめたものがある。乳児院自らは、使命と役割の再確認及び意識醸成として、社会的には乳児院アピールの一手段として、内外に示すものです。また、「蕾舎・舎訓」は施設独自で作成した子どもの権利を守るための職員として心構えが示されており、これを基に、「より適切なかかわりをするためのチェックポイント」を中心にフィードバックを行った。

また、市町においては虐待の予防的観点から「子育て短期支援事業」の利用勧奨を図ったことにより、敦賀市内はもとより、嶺南市町の利用件数が増加傾向となった。何よりリピーターが増加しており引き続き継続した支援に繋がるなど、虐待の早期発見・早期対応に向けた一歩を踏み出せた。今後も、利用者が安心してお預かり出来る家庭的な養育環境を提供できるよう励みたい。

入所児童数については、3名となり令和6年度には暫定定員が適用されることとなった。今後も、社会的養護が必要な子ども達への受け皿として、安定した財務基盤を図る上から地域ニーズに合わせた施設の機能強化を図っていきたい。

3. 令和5年度グループ構成と養育体制

グループ名	定員	対象児	養育者	その他
すなお	5名	乳幼児	看護師・保育士	栄養士・FSW 事務員など
まこと	5名	乳幼児	看護師・保育士	

◇令和5年度入退所実績表

	入所	入所前	退所	退所後先
計	6人	家庭(3)	3人	家庭引取(1) 里親委託(1) 措置変更(1)

4. 養育支援

様々な研修を通じて、職員のスキルアップに努めてきた。子どもたち一人ひとりの養育支援計画表を作成し、それに基づいて子どもたちやその家庭の抱える諸問題をホーム会議や支援者会議、そしてカンファレンスを通して養育支援を行ってきた。特に、ダウン症児はこの間著しい成長が見られ、そのことが養育者に障害児に対する見識と養育への自信が感じられた期間となっている。

5. 健康・安全面

- ・子どもの健康管理については、看護師を中心に季節性疾患への対応をするとともに、特に新型コロナウイルス感染症への対応に苦慮したことも実際ある。
- ・職員へのコロナウイルスワクチン接種は任意とした。季節性インフルエンザ予防接種を推奨した。

- ・子どもたちには発達年齢に応じて、予防接種法に従い適時ワクチン接種を行った。

6. 家族支援と里親委託関係

- ・担当相談員は常に児童相談所と連絡を密にし、子どもの家庭引取や里親委託が進められるかアセスメントを行いながら進めた。
- ・育児不安や精神的問題を抱える母親に対しては、子どもと母親等との関係づくりのため、児童相談所と連絡を取りながら、慎重に面会や外出、外泊を進めてきた。
- ・里親支援専門相談員は定期的に「福さと」に出向き協力体制を取ってきた。また里親制度に関心を示す方に対して、里親研修を行ったり出前講座を開いて里親啓発や里親研修を随時行ってきたりした。また入所児に対しても積極的にマッチングを進めて里親委託に繋げた。

7. 養育支援計画・記録

- ・子ども一人ひとりに年2回（5月と11月）、各担当者が中心となり、養育支援計画表を作成している。家族の状態や子どもに対する家族の思いを聞き取り、児童相談所から提示された個別援助指針に基づいて、一人ひとりの短期目標および中期目標を作成し、全体としての養育支援計画表を児童相談所に折り返し送っている。
- ・日々の記録やグループ討議、カンファレンスで意見交換したものは併せて、情報共有ソフト「エフトス」に挙げながら活用している。

8. 権利擁護

- ・日本国憲法、児童憲章、児童福祉法、児童虐待の防止に関する法律、全乳協倫理綱領、白梅学園職員倫理綱領等に掲げられている理念を遵守する、を基本的な養育理念として子どもを尊重し、子どもの最善の利益のために尽力している。
- ・入所の際には、家庭支援専門相談員が、保護者に施設の役割と子どもの権利に関する事案について書面を使いながら説明している。

9. 関係機関との連携

- ・施設の役割や機能を達成するために、児童相談所との連携を適切に遂行し、定期的な情報共有や事例検討会議を通して、子どもの家族が抱える問題（課題）についての支援や問題解決への取り組みを行ってきた。
- ・各市町の要保護児童対策地域協議会（要対協）に積極的に出向き、地域の中で潜んでいる不適切な関わりをされている子どもの状況把握に勤め、個別ケース会議にも参加して対応を協議してきた。

10. 職員の資質向上

- ・職員の研修は、年度初めに研修計画（案）を発表し、施設長や養育主任（UL）を中心に援助技術の向上を目指した。勤務経験の浅い職員には新任研修等を、中堅職員にはそれに応じた研修を受講させる計画作成、様々な研修に参加させ資質向上に努めた。

11. その他

- ・施設長との個人面談（1～2回）行い、現況と今後の展望等について意見交換した。
- ・職員旅行を実施し、慰労と職員間の親睦を深めた。

12. 職員配置状況（年度初）

職 種	人 数	職 種	人 数
施設長	1 人	事務員	1 人
里親専門相談員	1 人	家庭相談員	1 人
個別対応職員	1 人	栄養士	1 人
主任（UL）	0 人	看護師	2 人
保育士	8 人	指導員	1 人
調理員	0 人	パート	2 人
正職員 17人		パート2人	
		合計 19人	

13. 令和5年度の職員の外部研修状況（一覧）

日 時	研 修 名	場 所	参加者
5/26	心肺蘇生法講習会（普通救命講習）	管理棟 2F	対象職員
6/3.4	東海北陸ブロック里親研究大会	岐阜	高木晴美
6/5.6	中部ブロック児童養護施設・乳児院合同研修会	福井市	塩野. 上野. 岸本
6/26.27	ブロック乳児院養育主任者会①	聖霊乳児院	上野・久保
6/30	地域支援を展開していく上での職員の心構え	園内研修	全職員対象
7/11	県社協キャリアパス対応チームリーダー研修	福井市	竹村・加藤
7/24.27.29	県社協キャリアパス対応 初任者研修	嶺南会場	中道・谷村
9/22	東海北陸ブロック乳児院協議会 栄養士会	三重県	大味真由美
10/2～	マルチ予防士講座（期間中の動画講座）	動画配信	竹村. 加藤. 大良 新谷. 坂井

10/28. 29	全国里親大会 神戸大会	神戸市	高木晴美
11/9. 10	ブロック乳児院養育主任者会②	名古屋市	上野・久保
11/27～29	天理教社会福祉施設連盟 全国大会	神戸市	坂井美紗
1/10～15	社会福祉施設長資格認定講習会	中央福祉学院	上野みゆき
1/19	福養協心理士部会研修	済生会乳児院	岸本恵美
2/19	第2回保育士部会研修会	衆善会乳児院	久保・加藤
2/27. 28	乳児院上級職員セミナー	灘尾ホール	岸本恵美
2/29	第12回乳児院医療・看護セミナー	灘尾ホール	竹村菜穂子

令和5年度 事業報告【児童家庭支援センター白梅】

1. 事業の内容

- ①児童に関する家庭その他の相談のうち、専門的な知識及び技術を必要とするものに応じる。
- ②市町村の求めに応じ、技術的助言その他必要な援助を行う。
- ③児童相談所において、施設入所までは要しないが要保護性がある児童、施設を退所後間もない児童等、継続的な指導委託措置が必要であると判断された児童及びその家庭について、指導措置を受託して指導を行う。
- ④里親及びファミリーホームからの相談に応ずる等、必要な支援を行う。
- ⑤児童相談所、市町村、里親、児童福祉施設、要保護児童対策地域協議会、民生委員、学校等との連絡調整を行う。

2. 令和5年度運営方針

- ①地域社会から信頼を得られるような子育てに関する相談活動を展開する。
- ②敦賀児童相談所と連携して嶺南西部地区の家庭児童問題に対応する。
- ③乳幼児等の健診等に同席し、地域の親子関係状況等を見極める。
- ④児童相談所から指導委託を受けた子どもの家庭を見守るため、家庭訪問や児童家庭支援センターへの通所を繰り返しながら家庭再統合を円滑に行えるよう支援する。
- ⑤心理士は地域の対象児童およびその親の心理療法に寄与していく。また乳児院に出張して児童及びその親に対しても心理療法を活用していく。
- ⑥本体乳児院より家庭支援専門相談員を週2回出向させ、センター相談員や心理士と協力して、家庭児童問題に対応していく。また、本体施設（乳児院・児童養護施設）へショートステイや一時保護等へ誘う活動をする。
- ⑦本体里親支援相談員は、月に3回程度センターに出向き地区の里親推進活動を展開する。

3. 令和5年度事業実績

1) 地域・家庭からの相談に応じる事業

児童の保護者や関係機関から相談を受けた。保護者から相談を受けた場合は、関係機関に報告し、連携して支援を行った。関係機関との連携は、可能な限り、保護者の承諾を得て行った。また、必要に応じ、児童に対して、心理士が心理療法等を実施した。心理士の見立て、心理療法中の児童の様子は、保護者や児童の所属機関に報告する。そして、日々の関わりに活かせるように相談員が保護者との面談、関係機関へ電話や訪問で説明している。

相談内容は、養護相談が最も多く、今年は虐待対応が昨年の2倍を上回っている。尚、不登校相談も増加する傾向は今も続いている。不登校児の心理療法や家庭訪問を実施したことが、訪問相談や心理療法等の件数を保持している理由と考えられる。

保護者（家族・親戚）からの相談対応が最も多いことは、例年と変わらない。

(1) 月別相談実人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規受理人数	36	15	11	7	6	7	8	2	2	1	12	3	110
継続相談人数	0	28	35	35	38	37	35	27	27	27	29	33	351
月別相談人数	36	43	46	42	44	44	43	29	29	28	41	36	461

(2) 月別相談延件数月別相談延件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話相談	40	48	38	30	60	60	55	48	31	48	49	57	564
来所相談	7	16	29	18	24	24	19	16	12	21	23	23	232
訪問相談	19	26	40	33	32	29	53	59	65	36	49	45	486
心理療法等	9	7	7	10	11	15	13	10	10	9	8	8	117
メール相談	16	7	18	13	14	42	41	35	31	41	47	40	345
手紙相談	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2
その他	1	1	2	1	5	1	5	1	2	2	2	3	25
月別延件数	92	105	134	106	146	171	186	168	151	158	178	176	1771

(3) 相談・指導内容の種別延件数相談・指導内容の種別延件数

養 護	虐待 (再)	保健	障害	非行	育 成				いじ め	DV	その 他	合 計
					性格 行動	不登 校	適正	しつ け				
1296	229	5	3	0	306	120	23	0	2	1	15	1771

(4) 相談経路別受付延件数相談経路別受付延件数

県・市町村			児童福祉施設		保健 所 お よ び 医 療 機 関	学校 等	家族 知人	近隣 知人	児童 本人	18 歳 以 上 本 人	里 親 里 子	その 他	合 計
児童 相談 所	福祉 事務 所	その 他	保育 所	その 他									
53	5	374	27	41	8	130	791	0	314	8	4	16	1771

2) 市町村の求めに応ずる事業

派遣依頼を受け、各事業運営に協力をした。

(1) 1歳6か月児健康診査および3歳児健康診査（小浜市）

親子関係や家庭環境等に関する相談・指導。カンファレンスに参加。相談員は、参加者の誘導を行いながら、親子の様子観察、保護者の話を聞いた。

当センターで支援を行っている家庭については、保健師に事前連絡をして情報を共有しておく。また、健診の場で当センターを知り、相談につながることもある。

1歳6か月児健康診査

出席日：4/21、5/19、6/16、7/21、8/18、9/15、10/20、11/17、12/15

R6.1/19、2/9、3/16（12回参加）

3歳児健康診

出席日：4/28、5/26、6/23、7/28、8/25、9/22、10/27、11/24、12/22

R6.1/26、2/23、3/24（12回参加）

(2) 5歳児健康相談（小浜市）

親子関係の観察、アドバイス。カンファレンスに参加。相談員は、事後相談で診察内容の確認、保護者の相談に応じる。

出席日：5/10、6/9、7/5、9/8、10/13、11/15、12/8、R6.1/5、2/7、3/14（10回参加）

(3) あそびの教室「すまいる」（小浜市）

心身の発達に問題のある子どもを早期に把握し、適切な指導を行い健全な発達を促すとともに、保護者が子どもにあった関わりができるよう支援することが目的の事業である。

子どもの観察、保護者への育児のアドバイス、カンファレンスに参加。

出席日：4/15、5/13、6/10、7/15、8/5、9/9、10/14、11/11、R6.1/13、2/10、3/10

(4) ペアレント・プログラム（小浜市）

ペアワークのフォロー、アドバイス、カンファレンスに参加。9人の母親が参加。小浜市子育て支援センター、児童発達支援センターを利用している母親が参加した。また、小浜市だけでなく、美浜町、高浜町在住の参加者もいた。3月には、フォローアップ教室を実施。

出席日：9/13、9/27、10/11、10/25、11/8、11/22、R6.3/7（7回参加）

3) 児童相談所からの委託による指導

『福井県児童家庭支援センター指導委託実施要綱』が令和3年3月1日から施行された。今後は、要綱に沿っての支援を行っていくことになっている。令和5年度は、指導委託ケースがなかった。

4) 里親等への支援

福井県里親会「嶺南サロン」を当センタープレイルームで開催（合計6回）。

6月は、4人の里親、委託されている里子4人、里親支援専門相談員2名の10人が参加。

2月は、3人の里親、委託されている里子3人、里親支援専門相談員3名の9人が参加。

5) 関係機関等との連携

今年度は、美浜町・おおい町の要保護児童対策地域協議会との関りもあり、おおい町に於いては3月の実務者会議に参加する運びとなった。

(1) 育児不安解消サポート事業“かるがものお部屋”（若狭健康福祉センター）

子どもの保育、子育てについてのサポート、カンファレンスに参加。

出席日：5/24、6/28、R6.2/28、3/28（4回参加）

(2) 小浜市要保護児童対策地域協議会

代表者会議(1回)・実務者会議(2回)・個別ケース会議(5回)・進行管理(3回)

出席日：4/5、5/19、6/3、6/30、7/6、7/15、9/20、10/6、10/27、R6.1/8、3/13（11回）

(3) 高浜町要保護児童対策地域協議会実務者会議（1回）・個別ケース会議（2回）

出席日：5/26、8/9、R6.3/23（3回）

(4) 若狭町要保護児童対策地域協議会実務者会議（1回）・合同会議(1回)

出席日：6/21、R6.3/17（2回）

(5) おおい町要保護児童対策地域協議会ケース会議（1回）・実務者会議(1回)

出席日：R6.3/28、3/28、（2回）

(6) 美浜町要保護児童対策地域協議会との情報交換

出席日：4/19、5/18、6/30、10/28（4回）

(7) 関係機関との話し合い・会議

要保護児童対策地域協議会以外で関係機関と今後の支援方法、役割分担などの話し合いや会議を行った。

関係機関：学校、保育園、児童発達支援センター、保健所、家庭相談員、児童相談所
要保護児童対策地域協議会担当課

実施日：4/28、5/18、6/10、7/14、11/22、R6.1/3/7（6回）

6) 児童相談所業務の協力

昨年度は児童相談所職員が若狭地域の保護者と面談する際に、当センターを面談場所として使用されていたが今年度に於いて利用は無かった。

児童相談所からセンターにケースへの関りを求められた場合、協力できる事案であるかどうかを会議で検討し協力体制を作った。

7) 地域支援事業（プレイルーム開放）

日曜日9時から17時まで地域の親子、子ども（18歳まで）に開放した。

プレイルーム使用についての見直しを行った。平日も電話予約で利用可能としたところ、必要に応じて予約される方があった。日曜日は母と子どもの利用だけでなく、夫婦で子どもを連れて利用したり、父だけが子どもを連れて利用したりする家族もいた。

開放回数：39回利用した子どもの延人数：57人（保護者：41人）

8) 職員研修等

- | | | |
|---------------------------|----------|------|
| ・令和5年度中部地区児童家庭支援センター協議会総会 | 4/28～29 | 2名 |
| ・全国児童家庭支援センター協議会総会 | 5/8 | 園長参加 |
| ・東海北陸ブロック里親大会 岐阜 | 6/3 | 2名 |
| ・全国児童家庭支援センター協議会 北海道大会 | 10/12～15 | 園長参加 |
| ・全国児童家庭支援センター協議会役員会 | 3/8 | 園長参加 |